

新年おめでとうございます。

昨年はいろいろな事がありました。

今年こそは「新しい年」にしましょう。

学長 井尻 昭夫

昨今の社会環境の変化は異常とも思えるほどに変化が激しいことに驚かされます。その起因の一つはIT革命とよばれるコンピュータの浸透およびその定着によることろ大ありますが、我々を取り巻く環境の変化も驚くばかりです。

競争原理の渦中へ

我々が生き生かされている大学社会はどのようになるのでしょうか。中教審の答申にもとづく文部科学省の施策は、古い伝統的な大学社会の殻を破る絶好の「指導」の機会ではありませんが、当事者である我々大学人にとってはこれまでに体験したことのない厳しい、また急速な変革が求められており、それなりの対応が課せられることとなりました。大学は「教育」の場であり、「研究」の場であり、もっぱら教授がその任にあたっています。この教員によって提供される大学のカリキュラムは長い歴史過程を経て生み出された学問体系に依拠したものであることは周知のことです。そのために大学を取り巻く環境がどのように変化しようとも、学問体系を損なうことがなければ「よし」とされてきました。当然ながら、教授サイドは何ら問題意識をもつことはありませんでした。ところが、今日にいたっては様相を異にする事態を生じています。

それは、これまで平穩であった大学社会に「競争原理」が積極的に導入されてきたことです。これは古い体質を打破するものであり、競争によって「個性豊かな光輝く大学をめざす」ことが求められています。しかも、文部科学省の主導によって世界に誇る三十の大学を核とする大学社会構想が発表され、明日の日本の「機関車」とすることが明らかにされました。当然のことながら、予算および補助金の傾斜配分の方針が明らかにされています。明日の日本を担い世界に誇る人材育成のために切磋琢磨する競争原理が導入されたのです。これにより、少子化社会の台頭も手伝い、これからの大学社会は、大学間で自由に競争し、生き残るものだけを生きかすという姿勢が明らかにされました。他方

大学社会が変わる今 光り輝く豊かな個性とは？

Contents

70

キャンパスニュース	
税理士特設講座 調印式	2
西日本九会場で保護者会 公開研究報告会 資格取得アンケート	3
大学院二期入学 永年勤続表彰 岡山商大論議	
就職便り	
就職関係Q & A 就職活動を経験して	4
学生のひろば	
軟式野球部 よさこい団体へ五名 文化講演会	6
キャンパスニュース	
中国文化賞受賞 推薦入試結果 喜寿過ぎていよいよ盛ん	7
お知らせ	
卒業アルバム完成まじか 卒業パーティー 学位記授与式 新入留学生に日用品を提供ください	8
キャンパスニュース	
学友会新役員紹介	8

の発展を祈念します。

最後に、皆さんのご協力とご尽力を期待します。

最後になりましたが、皆さんのご多幸と競争環境の中で光り輝くよう大学の発展を祈念します。



個性を身につけるため……

大学社会は長い間大学が学生を選ぶ時代でありましたが今日では一八〇度転換し、学生が大学を選ぶ時代になり、今日ではまったく予期しなかったような厳しい環境が作り出されています。

問いに対する「特効薬」はありませんが、この問題に対し、我々は大きな流れを的確に捉え、解決の糸口を見出さなければなりません。検討すべき事項は①本学の使命、本学部学科の使命は何か、②その使命に十分に込められているかどうか、を今一度洗いなおすことが必要であると考えます。社会的な使命の成就を意識するならば、アウトプットを意識した姿勢が必要であり、また、従来の画一的な教授体制から個別的な能力に応じた教育体制の構築、の検討は少なくとも必要であると考えます。この検討に際して何よりも重要なことは「学生」であり、学生に対していかに付加価値を付けるかを最優先に考えなければなりません。また、地域社会の中で生き生かされていることを考えれば、「社会と呼吸する」姿勢を失ってはならないと考えます。本年こそは地域社会の中で「どのように生き生かされるか」という問題に関して、大学あげて新しい大学作りを精進したいと考えます。皆さんのご協力とご尽力を期待します。

そこで問題は、わが大学はいかに競争環境の中で「個性豊かに光輝くか」ということが問われています。しかし、この

大学院 法学研究科

税理士特設講座 調印式

中国税理士会との連携 全国で五例目

本学と中国税理士会との連携により、大学院法学研究科に開設される「税理士特設講座」に関する協定書の調印式が、十二月十日（火）本館小会議室で、中国税理士会から姫井健次会長をほか五名が、本学からは井尻学長ほか五名が参加して行われた。

平成十四年税理士法が改正され、租税訴訟のより円滑かつ厳正な進行のため、弁護士との「補佐人」として税理士の出廷が可能になりました。そのため税理士に租税関係の知識のほか、訴訟に関連する専門的知識が要求されることになり、その研修の場として中国税理士会が特設講座の開設を本学へ打診。それを受け入れた形で今回の開設に至りました。

調印式で、井尻学長と固く握手を交わした姫井会長は、「全国で五例目となる試みを地元岡山大で開設できたことは素晴らしい事です。今回の法改正は時代の要請による



調印後握手を交わす姫井会長(右)と井尻学長(左)

西日本九会場で保護者会
就職への強い関心

9月から10月にかけて、岡山をはじめ西日本の各都市で、平成14年度保護者懇談会が後援会との共催により開催されました。学生生活や講義、就職に関する説明を受け、出席されたご父兄の方々は、普段うかがい知る機会のない大学での様子とあって真剣に聞き入られていました。当日記入いただいたアンケートでは、時代を反映してか、就職に関する非常に強い関心が示されていました。（4面に就職関係のアンケート掲載）

富永就職部長からの説明
(松江会場)

もの。充実した研修がこれで可能となります。」とあいさつ。井尻学長も「全国に先駆けてこのような講座が開設できたことは大変名誉なことです。」と話されました。なお、この講座は来年四月からの開講を予定しており、中国税理士会に所属し、同会会長が推薦する税理士が受講することになります。

五夜にわたり

成果発表

社研 公開研究報告会



外部からも熱心な聴講者が多数訪れた

延べ二百三十名の聴講者がありました。平日の夕方からの開催となった今回、学生も講義の延長として熱心に聴講していました。

▼第一夜（五日）

生名村の塩田経営の実態

商学部教授 喜田栄次郎

マーケティング・ネットワークの地域モデルにおける「ネットワーク」

商学部助教授 矢吹 雄平

平成十三年度

社会総合研究所

助成金を受けた

研究の成果を報告する「公開研究報告会」が十一月五日（火）

十九日（火）、

五夜にわたって

本学で開催され、学内外から

聴講者が多数訪れた

外部からも熱心な

聴講者が多数訪れた

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

外部からも熱心な

ミステリー作家 17期OB
石井氏

保護者懇談会の岡山会場では、昨年から本学卒業生を招いてのミニ講演を開催し、好評いただいています。今年は本学商学部第十七期卒業生で、作家の石井敏弘氏を講師に迎え、「ミステリー作家のミステリー」と題して講演が行われました。

好評の講演

思えば叶う！

「石井先生の話を大変ありがたく聞かせていただいた」「講演の内容が良かったなど保護者の方から非常に好評の言葉をいただきました。」

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

▼第二夜（八日）
近世後期の産業開発と地域の姿容
商学部教授 土井 作治

先進観光地における観光地づくりの要点
—愛知県足助と大分県湯布院の事例として—
商学部助教授 捧 富雄

▼第三夜（十二日）
果樹園経営者による共同経済活動
商学部教授 岡嶋 隆三

景観色彩の保全・形成に関する
スタンダード策定の基礎的研究
商学部教授 飯島 祥二

▼第四夜（十五日）
中世期石造物の分布と石材
商学部教授 佐藤 昭嗣

瀬戸内海および周辺地域における
流通と交通の発達
—特に芸予諸島を中心として—
岡山商科大学名誉教授 三好 正喜
岡山商科大学名誉教授 村上 貢

▼第五夜（十九日）
中国・四国地方における観光について
商学部教授 三浦 肇・野本 晃史
今井 成男・柴田 雅行
商学部助教授 捧 富雄
商学部専任講師 直井 岳人

のターンロード』で史上最年少、弱冠二十四歳という若さで受賞。近年はイベントミステリーや劇団用の原作小説を多数書き下ろすなど、活発な作家活動を続けられています。

「石井先生の話を大変ありがたく聞かせていただいた」「講演の内容が良かったなど保護者の方から非常に好評の言葉をいただきました。」

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

氏の信念に満ちた言葉は多くの方の心に足跡を残したようでした。

「思つことは必ず叶う！」

社研 学生対象 資格取得アンケート 必要性 高く認識 将来へ 早期から対策を!

社会総合研究所はデジタル・メディアアカレッジ岡山（旧岡山商科大学専門学校）と連携して、本学学生の実践的能力の修得と社会人としての教養を身につけ、早期から就職意識を高めることを目的として、各種資格試験講座を開講しています。

このたび、資格試験講座の受講率や合格率等が低下していることを背景に、充実した講座の開講、資格取得のサポート体制を構築するため、学生を対象としたアンケートを実施しました。

本学学生三、〇四七人（平成十四年六月一日現在）のうち一、九八八人から回答を得ています。（回答率六五・六％）

資格は必要! だが:

資格取得については、全学生の九〇％が「必要」と感じています（表1）。また資格と職業の関わりについては、六〇％が「ある」と回答（表2）。ほとんど学生が「資格は自分にとって必要なもの」との認識があるようです。しかし、「将来就きたい職業は？」との問いに五一％が決まっていな

いと回答し（表3）、半数の学生はまだ明確に将来についてのビジョンが決まっていな

んでいる姿勢がみられます。しかし既に取得している資格は、高校時代に取得したものが多いとの結果も出ており、大学へ入学してからの取り組みについては、必ずしも積極的とばかりも言えないようです。

本学における授業が資格試験と関わりがあったと回答したものが三二％、その内の五八％が当該授業を受け、資格をさらに取得したいとの思いに至っています。今後、ある程度資格を意識した（資格に結びつくような）講義が増えれば資格取得への関心度もさらに高くなるのではないかと考えられます。

将来のための資格

資格について、その必要性は認識しながらも、全体的に資格を取得したいという関心度は低い傾向にあることは、先に見てきた通りです。学年別で見ると、学年が上がるにつれて資格に対する意識が薄れていることから、資格取得の必要性の認識を早い段階から周知徹底させ、意識、関心を向上させる働きかけが必要となります。

昨今の就職戦線は、「氷河期」とたえられるように非常に厳しくなっています。資格は、当該その分野における知識やスキルを客観的に評価する機能を有することから、取得者のケイパビリティ（能力）の証として就職の条件を有利にします。

社会総合研究所では、今回のアンケート調査結果を参考にして、この厳しい就職戦線を勝ち抜くために、「必要な資格」「つまり社会的に認知があり、ニーズの高い資格試験講座を開講するとともに、通信講座等の情報提供、受付等の導入も検討してワンストップショッピング化を図るなど、積極的にサポートを行って行きたいと考えています。

大学院Ⅱ期入学 商学研究科へ五名

九月二十九日（日）平成十四年度、第Ⅱ期大学院入学式が本館大会議室において挙

- 地域商業分野……………二名
- マーケティング分野……………二名
- サービス・ソフト分野……………一名

表3 将来就きたい就業は決まっていますか？

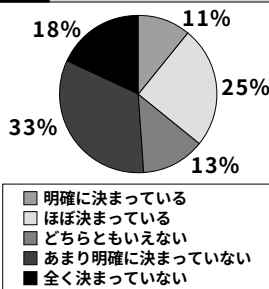


表2 資格と就業が密接な関わりをもっていると思いますか？

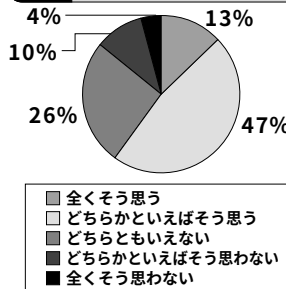
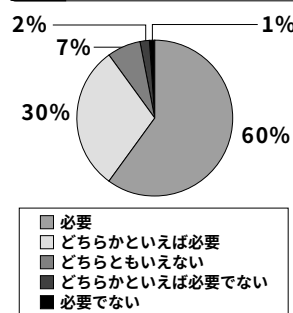


表1 資格取得は必要ですか？



永年勤続表彰

二十年ごころつさま

入試部 藤原さん



あいさつを述べる藤原さん

式が行われ、入試部参事 藤原誠二郎さんが表彰を受けました。

井尻学長から表彰状と記念品を手渡された藤原さん。幾分緊張気味ながらも「今日の自分があるのはお世話になった方々あってこそ」と二十年の来し方をゆつくりと振り返り、「また明日からも、大学のため力を尽くしたい」と今後の抱負を述べられました。

論説

都市・地域環境と旅行者モチベーションに関する基礎的考察
—環境計画に関する視環境の環境工学的研究を通して—

漢字機能と漢字文化の未来	飯島 祥二
平均費用における信用組合の合併効果	盛岡 加
G4+1における将来事象会計導入の理論的枠組み	岩坪 則一
経営者の事業動機と企業リスク	川本 和
	宋

翻訳

シドニィ&ベアトリス=ウェブ著 『英国救貧法史第2部：最近の100年間』 『守勢に立つ貧民保護委員（1909-1918）』第4回	柏野 健三
アルフレート・デーブリン著 『ポーランド旅行』『ワルシャワ』（一）	岸本 雅之

就職便り

保護者会での質問から 就職関係Q&A

キャリア開発論を必修科目にしてほしい。

生活と人生設計のバランスある生涯学習の方法の指導を目的としたキャリア開発論Ⅰ（一年・二年）、職業社会人として責任ある人生設計の手法の指導を目的としたキャリア開発論Ⅱ（三年・四年）を昨年度から開講しております。これらの科目については実践学習単位科目（時間割に掲載されない任意科目履修の手引きに掲載）として開講しており、学生への受講案内はオリエンテーション、保護者懇談会などで呼びかけております。就職部は、まず、正規授業の中に取り入れた科目として発展させることを強く望んでおり、そのためにも一人でも多くの学生に受講していただき実績をつくりたいと考えています。もちろん、正規授業に取り入れた後にはさらに内容を充実させ必修科目にしたいと考えております。

Q

ボランティアアプロフェッサー制度の一層の充実を

ボランティアアプロフェッサー制度は岡山県経済同友会のご協力のもとに実施している経営学特殊講義という科目の講義です。地元企業の経営者の方がオムニバス方式（三名の講師が分けて講義）を取っており、夏休み中には実際にその講師の企業を訪問するという画期的な授業です。そのため希望者が多く受講できない学生がいるのも現実で

です。毎年開講しておりますので受講できなかった場合でも次年度に再度履修手続きをしてください。また、新たな試みとして本学後援会組織を利用して企業等でご活躍中の保護者の方による講義ができればと考えております。

Q

官公庁へのインターンシップは開設できないか

就職課幹旋インターンシップについては「岡山県経営者協会」「中国地域インターンシップ（中国経済産業局）」の二つの仲介媒体を利用して実施しております。本年度は岡山県経営者協会を利用し八名の学生が参加いたしました。同会のインターンシップ制度は適職診断を受検しその適性に応じた企業へのインターンシップが可能ということで参加者が集中したのと思われれます。中国地域インターンシップはパソコン上に表示された受け入れ可能企業から希望する企業を選択するシステムです。しかし、多数の学生（他大学を含む）からの応募があることから、参加に至るまでには厳しい選考があります。また、これには官公庁が受け入れ先として登録されていますが特に人気があり数名の受け入れ枠に対して多数の学生が応募している状況です。さらに理工系学生を求めている企業が多いのも特徴です。本学といったしましては仲介媒体の一本化や、岡山県下の大学が一体となったインターンシップ制度が必要でないかと考えております。

Q

就職状況・内定者の就職までのプロセスなどをホームページに公開してほしい。

就職状況・就職までのプロセスなどについては本学ホームページ <http://www.osu.ac.jp/>

www.osu.ac.jp/に掲載をさせていただいております。ぜひ、ご覧になってください。

Q

就職対応について保護者への連絡・指導をお願いしたい。

四年生の就職指導は個人指導を中心に行っております。学生との電話連絡を実施するほか、本人との連絡が取れない場合などは保護者の方との情報交換を頻繁に実施します。また、大学に届く求人状況についてはホームページで公開させていただいているとともに三年生保護者の方には年間行事予定や適性検査開催案内等を通知させていただいております。一・二年生の保護者の方には学報、大学ホームページなどで就職課行事予定を掲載させていただいて

就職活動を 経験して

国際観光学科 四年 小松 理紗



昨年この時期、私の脳裏には「就職活動」という単語がまだうっすらとあるだけでした。何度か就職ガイ

ダンスに参加するも、友人との会話や暇つぶしの時間になるだけで「難しい話をしてるな」としか感じませんでした。先輩方の就職率を見ても、就職希望者のほとんどが内定をもらっているという事で、何とかなるか……くらいに考えており、初めてリクルートスーツを着たのが四年になる二月でした。エントリーシート・履歴書の書き方に始まり、面接・筆記試験対策等何もせず

ております。

（大学ホームページ <http://www.osu.ac.jp/>から就職課に進んでいただき学内専用サイトをご覧ください。）

Q

公務員対策について具体的カリキュラムを教えてください。

公務員採用試験対策講座は本学の公務員試験科目関連分野を担当する教員が中心となり、本学学生に安価で開講している講座です。公務員を希望する学生に一人でも多く参加していただけたらと思います。希望者が減少傾向にあります。私どもとしては基本の繰り返し講座ばかりでなく段階を踏んだ講座も必要ではないのか、検討しております。

いきなり「就職活動が始まったのでした。しかし、この時点ですでにエントリー受付終了の企業があり、私は早々に出遅れを感じました。企業研究もせず、政治・経済等の知識も無く不採用通知が続き、慌てて参考書を読み漁る日々でした。説明会に行けば何十人・何百人の学生の中で、どれだけ自分を印象付けるかを考え行動しなければならぬ状況の中、企業から不採用通知をもらう度に、企業はあれだけの学生の中で私の事をどれだけ知り、何を見て不採用という結果を出したのか、苛立ちや焦りを感じる様にもなりました。このような葛藤が私自身・根性を強くし、最後に内定を頂けるまでになったと思います。

必ず焦る時期はあります。しかし、一つの小さなチャンスや情報を自分のものにし、それを活かす努力をする事で、この就職活動は前進していくのだと思います。頑張ってください。



鏡割りでスタート



ねるとんでカップル誕生？



ドッヒャー！マジックステージは驚きと笑いの連続だった



夫婦漫才 古典的笑いを堪能？



今年の模擬店売り上げNo.1は弓道部。会長の福本君から商品を受け取る



感動的なフィナーレ 三日間ごろうさま！

さすが、プロだなあ

いくら仕事とはいえ、3日間大学祭の取材をするのはつらい。1日目は通常出勤日なので問題なし。あと3日目の半日だけ取材して記事にしよう！と、その間は出勤の学生課の方々へお願いし、要領よく辞退（学報二年目は違うなあ〜）。

迎えた三日目の日曜日。良心が咎めたわけでもないが、なぜか11時には早々に出勤、シャッターを切る自分がいた（いまましいが相変わらずだ）。この日のため、学生生活の多くの時間と情熱、そして莫大なお金を費やしてこられたみなさんには申し訳ないが、正直、5年間見慣れた風景。変わらないなあ〜と年よりのようにつぶやく（やだやだ）。まあ、ここは使える（学報に）だろうと、ご丁寧に右と左と角度をかえて遅延無く写真におさめてゆく。文化系の展示、ライブなども周り、ぬかりはない。今年校門前に新しいマンションが建った。住民の方々はさぞかし大変だろう、というめ心配をしながら窓に目をやると、どの部屋も厚いカーテンがキッチリ（やっぱり！）。

さて、屋も過ぎると時間を持て余す。ああ、後何時間いなければいけないのか。時計に目をやり時間を確認すること数回。ぜんぜん進んでないや、とつぶやく。

そんな時だった。どこかで久しく聞いた事のない歓声があがる。ケンカかでも勃発したのか？急いで飛び出してみる。うん、どこだ。何もなし。よく聴けば舞台の辺りから響いてくるようだ。舞台でも燃えたのか？あわてて駆けつける。そこにはタキシードの男性と美しいドレスに身を包んだ女性がいるだけだ。歓声の原因はこれだった。

マジック。そこにあるのはテレビでおなじみのマジックショーだった。美女を箱に閉じ込め遠慮なく鉄板で切断するも、かすり傷ひとつなく笑顔で生還！こなごなに破ったお札が、あら不思議このとおり元どおりー！！拍手喝采である。こんな古典的エンターテインメントが受けるのだろうか？それも現代の学生に？

受けるのである。爆笑なのだ。テンションがガツンと上がった。なぜだ？よく目を凝らすと舞台がグリーンとせり出している。客席と舞台の空気が同じになっている。一体感というやつだろうか？プロというのは空気というものをかくも自在に扱うことができるものなのか？さすが、プロだなあ。学生の顔も生き生きとしている！（右上の写真を見てください）

あっという間の三十分。もう、十分楽しんだよ！そんな声が聞こえてきそうな瞬間、お二人のマジシャンは舞台を後にされた。（O）



ゼンジー世村さん

第37回 商大祭 11/1(金) 11/3(日)

やるぜ やろうぜ やったるでえ



すっかり恒例となった自主展示「生きる」



写真部の展示



学生のライブステージ



華道部の展示「火」をテーマに取り組んだ

喜びと感謝のプレー

先輩そして友への思い

軟式野球部

我が軟式野球部は、現在四年生十二人・三年生二人・二年生四人・一年生七人・マネージャー四人の計二十九名の部員数で活動しています。練習は毎日昼休みに行き、春季リーグ戦・秋季リーグ戦では好成績を収めています。

ところが、今年五月の春季リーグ戦は予想外の三位という結果に終わり、全国大会への出場権を逃してしまいました（二位以上が全国大会出場。それからというものの僕たちは、限られた練習時間の中で、春季リーグ戦の悔しさをバネに厳しい練習に耐え「平成十四年度西

日本学生軟式野球連盟秋季リーグ戦」を迎えました。その結果、秋季リーグ戦では三位となり、十一月十二日から広島市民球場で行われた「第十九回西日本学生軟式野球選抜大会」に出場することができました。

一回戦は西九州大学に3-0で快勝、二回戦は広島大学に2-1で勝ち、いよいよ決勝戦、広島県立大学との対戦です。前半はリードしたものの途中で逆転を許



全員で勝ちとった準優勝！

してしまい、結局2-5で負け、惜しくも準優勝に終わりました。

例年ならば、春季リーグ戦終了後、四年生は引退してしまいます。しかし今年は最後まで一緒にプレーしてくれました。それはこの大会には、特別な思いがあったからです。

全国大会への無念さ、誰よりもこの大会を楽しみにしていたながら出場できなかったメンバーへの思い……。これらの思いが一つになり準優勝へ導いてくれたもの的心から信じ、そして感謝しています。

だからこそ、野球をすることができ喜びと感謝の気持ちを忘れず、今まで以上に練習に励み、来年の夏には必ず全国大会へ出場します。そして、先輩方の果たすことのできなかった「全国制覇」を成し遂げ、我々を支えてくださっている多くの方々に恩返しをすることが部員一同の願いです。

(主将 商学科三年 喜安一樹)

「よさこい」へ五名

第57回国民体育大会秋季大会（よさこい高知国体）へ本学から5名の選手が出場しました。

■陸上競技（春野総合運動公園陸上競技場）

棒高跳…小林良隆（産三）

100m…風早一也（商四）

■柔道競技（宿毛市総合運動公園市民体育館）

団体戦…香川義篤（法三） 岡本智志（法三） 菊川顕（法二）



左から風早・小林・菊川・香川・岡本の各選手 中央井尻学長

文化講演会

本物は見つかった？

タレント 北野誠さんを迎えて

十二月一日の日曜日、私たち岡山商科大学 文化会本部主催の文化講演会にテレビや雑誌等でおなじみのタレント、北野誠さんをお迎えしました。

講演のタイトルは、こちらで考えたタイトルに北野さん本人につけていただいたサブタイトルをくっつけて、「世間を斬る」～本物の見つけ方～としました。講演会では北野さん本人の価値観・人生観などをご自身の体験談も交えながら、北野さんならではのしゃべり方でおもしろおかしく語っていただき、途中芸能界の裏話のようなものも飛び出したりして当日会場にいられた二百十名の聴講者の方々はとても満足していただけた様子でした。

また、最後に「北野さんに質問しよう」というコーナーを設けて、聴講者の方に拳手をしていた

中から数名の方に北野さんに直接質問してもらいました。ちよつと答えにくいような質問も交ったりもしましたが、北野さんに答えていただき大盛況のうちに幕を閉じることができました。



オフレコのキワドイ発言も…？

(文化会本部 企画長

商学科二年 西村浩平)

祝 第59回 中国語文化賞受賞

中国地方の学術や文化の専門分野で優れた功績をあげた人々を称える「第五十九回中国語文化賞」(中国新聞社主催)を、商学部教授 稲田準子先生が受賞されました。新聞に掲載された記事をもって、先生の功績とお人柄を紹介させていただきます。

心理学研究と教育で堅実な歩み

稲田 準子氏 (75)

広島市南区丹那町

親子を性差で分析



いなだ・じゅんこ 広島市中区生まれ▽1948年、奈良女子高等師範学校卒▽51年、広島文理科大学教育学部卒、広島大教育学部副手▽56年、安田女子短大講師▽59年、同短大助教授▽66年、広島女子大助教授▽72年、同大教授▽82年、文学博士▽91年、岡山商科大教授

女性では数少ない文学博士の学位を持つ。心理なひたむきで評価と信頼を積み上げた。家庭経済行動の分析に成果を挙げるとともに、半世紀にわたる大学・短大などで学生を指導。謙虚な学究姿勢を養う学生が、しばしばセミの定員を超えて殺到する。

「業績に華やかさがまるでなく、賞をいただくのは申し訳ないがしま 高等教育は極めて狭い門

「戦時下の一九四四年、あこがれだった奈良女子高等師範学校(現奈良女子大学)へ進んだ。女性の期にわたる調査で明らか

「学がことになった。最近では消費者心理の分野に踏み出し、児童の消費行動などに着目した先駆的な研究を続けている。

安田女子短大、広島女子大など、主に女子高等教育機関で多くの優秀な人材を育て、女性の社会進出を促した。自ら体験した「狭き門」を、押し広げてゆく過程だった。

「根っから学校が好きなんです。風邪をひくのも、なぜか休校日に限って、輝く笑顔は「女子学生」のそれだ。

中国新聞 平成14年11月3日

喜寿過ぎて いよいよ盛ん



学位記を手に石倉元教授

本学の商学部元教授 石倉三雄先生(七九)がこのたび京都大学博士号(経済学)を授与されました。著書『地場産業と地域振興』(ミネルヴァ書房刊)の業績が評価されたもので、イタリアでのフィールドワークを通じて現地の職人企業の現状をまとめられました。本学へは平成八年から十一年までの三年間奉職いただきました。喜寿を過ぎての授与に心からお喜び申し上げます。

指定校推薦入試(10月19・20日実施)

学 部	学 科	合格者数
商	商	44
	産業経営	21
	国際観光	7
法 経	法	19
	経済	18

専門能力推薦入試(10月19・20日実施)

学 部	学 科	合格者数
商	商	35
	産業経営	5
	国際観光	3
法 経	法	10
	経済	5

編入学推薦入試(10月19日実施)

学 部	学 科	合格者数
商	商	1
	産業経営	3
	国際観光	—
法 経	法	—
	経済	—

推薦入試 合格者決まる

平成15年度の推薦入試が行われ、467名が合格しました。

一般公募制推薦入試(11月9・10日実施)

学 部	学 科	合格者数
商	商	126
	産業経営	25
	国際観光	13
法 経	法	66
	経済	66



推薦入試の合格発表

卒業アルバム

完成まじか 一生の思い出を…

アルバム委員会とは何か？それについて知っている学生はあまりいないと思います。アルバム委員会は文化会本部が主体となり、学友会本部・体育会本部と共に、卒業アルバムのレイアウトを考えたり、ゼミや文化系・体育会系サークルの卒業アルバム用写真など撮影の段取りを行う…主以上のことをやっております。

今年は「先生から学生に贈る



撮影も着々と進行

言葉」と題して各ゼミの担当教員から寄せ書きしていただきアルバムに載せることにしました。このような試みを、卒業生の一生の思い出になるように、わたしたちアルバム委員で相談しながら行っていますが、中には「アルバムを買わないので撮影に來ない」という方もいるので少しづらいつきもあります。卒業から数年経ち、「卒業アルバムがいるのでください」と学校を訪れる方もいます。アルバムは金額的に安くはありませんが、一生の物なので将来のことも考え「買う・買わない」を今一度考えてみてください。

(アルバム委員会委員長
商学科二年 北井茂輝)

最後の思い出に！

卒業パーティー

新たな年を迎え、卒業生の皆様は残り少なくなった学生生活を有意義に過ごされておられることと思います。

さて、学友会四本部では今年度も学位記授与式終了後に「卒業記念パーティー」を行うことになりました。ビンゴゲーム等参加された卒業生全員が楽しんでいただけるものを用意しておりますので、学生生活最後の思い出にぜひ参加していただけるようよろしくお願いします。

(卒業記念パーティー実行委員会委員長
経済学科四年 橋本洋一郎)

日時／平成十五年三月二十二日(土)

学位記授与式終了後 十五時三十分～十七時三十分

場所／ホテルグランヴィア フェニックスの間



昨年のように 多数の卒業生が出席 大盛況だった

学位記授与式は 3月22日です

平成十四年度学位記授与式は、次のとおり挙行されます。卒業生には追って文書でご案内いたします。

日時／平成十五年三月二十二日(土)

十時三十分(予定)

場所／岡山商科大学体育館

新入留学生に 日用品を提供ください

商大では現在、約二百名ほどの留学生が学んでいます。平成十四年度はこれまでで最高の百名以上の留学生が本学の門をくぐり、来年度は更に多くの留学生を受け入れる予定になっています。

そこで卒業などにより日用品(特に大皿などで不用になるものがありましたら、新入留学生に提供いただけないでしょうか？「中国からの留学生が多く、貨幣価値の違いから最低限の日用品をそろえるだけでも苦勞します。」と留学生課の内田課長。提供いただける方は留学生課(086-256-6659)まで、まずはご連絡を！

編集後記

学報70号をお届けします。▼今回初めて大学祭のフィナーレに参加しました。半年間積み上げてきたものが、終わりを迎える時、その瞬間の感動の盛り上がりはまさに圧倒的でした。学生の眼差しに引きずられ夢中でシャッターを切りました。学祭のあり方を問う声が聞こえます。しかし、フィナーレの感動はいつも同じのようには思えませんでした。▼次回は三月末の発行です。(〇)

Campus news 10

学友会 15年度 新役員紹介

平成十五年度、学友会四本部の役員が後期学生総会(十一月二十七日)等で決定しました。

学友会本部

会長 中村吉孝(産三)

副会長 佐藤弘幸(商三)

文化会本部

会長 西村浩平(商二)

副会長 算 芳浩(産三)

体育会本部

会長 天川雅和(法三)

副会長 藤田健二(商三)

〃 小笠原聡美(商三)

大学祭実行本部

委員長 松澤元太(商二)

副委員長 小野裕子(法二)



後期学生総会